

東京都医師会 定例記者会見

2024年9月10日(火)

- ・ 新型コロナウイルス感染症の
パンデミック後に、見えてきた危機
～2025年地域包括ケアシステムを目前にして～



当面の課題

1. 今秋のインフルエンザウイルスとコロナウイルスの予防接種

新型コロナウイルス感染者数が高止まりのまま、冬の流行に！？
秋の定期接種対象者は、ぜひワクチン接種をお願いします。

・ 東京都の補助金が決定

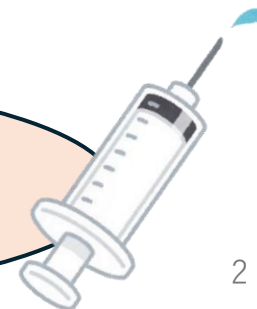
合わせて5000円以下になる予定

現在、JN.1系統が99%を占めている
＝予防効果は高い

・ 今回の新型コロナウイルスワクチン JN.1対応

・ その他ワクチン キャッチアップ接種等を忘れずに！

他にもワクチンで
救える命があります



当面の課題

2. 物価高騰対策

全国一律の診療報酬
人件費、土地代が高い。
病床稼働率が戻らない。
物価高騰。

東京の民間病院は
未曾有の経営危機

診療報酬での迅速な対応が期待できない。
→ 東京都が、物価高騰対策として89億円の
補正予算を組んでくれました。

しかし…



近未来の課題

1. サージキャパシティとしての臨時医療施設が必須

パンデミックや自然災害は、必ず発生します。

2. 地域包括ケアシステムが有効に活用されることが必要

複数の病気をもち、介護も必要な高齢者が激増しています。

必要不可欠なのが、地域を支える中小の民間病院です。

その民間病院が、今、**危機的状況**なのです。

